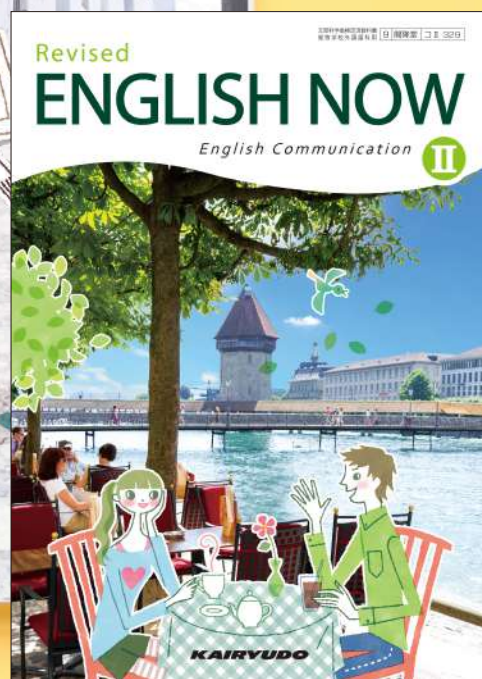


平成30~34年度用 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ

教科書の内容案内

高校生目線の
題材にあふれた
やさしい
教科書です。



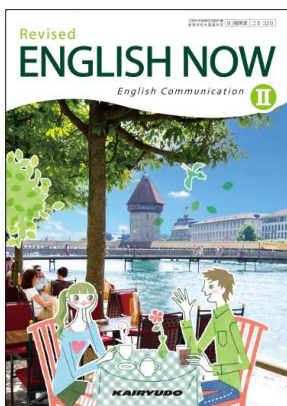
- ✓ 教えやすく学びやすい，統一された紙面構成
- ✓ 見てわかる文法解説が充実
- ✓ 練習問題，音声面がパワーアップ

開隆堂

英語が苦手な生徒でももう一度基礎から 学び直せる教科書です。



コI331
B5判 /136 ページ
基礎語数 661
新語数 407



コII329
B5判 /152 ページ
新語数 683

1 英語の基礎を 身につける

- I巻の巻頭には Let's Start に加え、中学校の復習というコーナーを設置。英語の基礎からあらためて学び直すつくりです。
- I巻の通常課9課のうち、Lesson 1～8 までは中学校で学習する平易な文構造・文法事項を扱いました。生徒が無理なく学習できます。

2 生徒に身近な題材

- 英語学習が楽しく進められるよう、高校生が日常生活で身近に触れる興味深い題材を精選し、学習意欲を喚起します。

3 文法学習から コミュニケーションへ

- やさしい言語活動と生徒に身近な話題を取り上げました。生徒の意欲的な発話をうながします。
- Activity や Let's Communicate といった4技能を総合的に育成するページを設置しました。
- II巻では、場面で理解というコーナーを設置。英語は使用される場面で機能が異なることを、対話形式のなかで学びます。

●著作者

高田 智子 (明海大学教授)
大場 浩正 (上越教育大学教授)
土平 泰子 (聖徳大学准教授)
平川 眞規子 (中央大学教授)
前田 ジョイス (前東京国際大学教授)
松林 世志子 (東京国際大学准教授)
八島 等 (広島大学附属高等学校教諭)

開隆堂出版編集部

●英文校閲

Alan Meadows (聖徳大学准教授)
Peter Vincent (聖徳大学教授)

高校生が興味をもって読み進められる 題材をそろえました。

高校生目線の題材を多く扱うとともに、I巻の Lesson 1～8 までは、すべて中学校で習う文法の復習です。(全課掲載)

【I巻の題材】

Lesson 1 "Hello, Everyone."	Lesson 2 Text Messages	Lesson 3 What Are Good Snacks?
自己紹介してみよう 	メールの顔文字 	体によいおやつとは？ 
Lesson 4 A Friendly Hug	Lesson 5 Kawaii	Lesson 6 Sempai and Kohai
文化によるあいさつの違い 	日本の「カワイイ！」文化 	「タテ社会」と「ヨコ社会」 
Lesson 7 Mago-no-Mise	Lesson 8 Marathon of Hope	Lesson 9 Mottainai
高校生レストラン「まごの店」 	義足のマラソンランナー 	マータイさんと「もったいない」 

【II巻の新題材】

Lesson 1
My Hometown
バーモント州紹介



Lesson 7
The Kizuna Bridge
きずな橋



Lesson 8
Ken's Everlasting Challenge
俳優渡辺謙の挑戦



中学校の基礎からスタートします。

✨ 中学校で学ぶ英語の基礎をI巻の巻頭 12 ページにわたって設置。
いつでもふり返りが可能です。

Let's Start 1 アルファベットと身の回りの英語

上の ①～⑦ の空欄に下から適切な単語を選んで書き入れましょう。
書き終えたら英語を聞いて答えを確認し、あとに続いて書いてみましょう。

tree flower clock road plane fish bird sun

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

4 four

英語が苦手な生徒も
もう一度基礎から
学び直すことが
できます。

中学校の復習 ② 文の要素と品詞

1 文の要素

英語は日本語と語順が異なります。英語の基本的な語順と、文を構成する要素を確認しましょう。

文の要素: 主語 (S) + 動詞 (V) + 目的語 (O)

Haruka + reads + books.

品詞: 名詞 (Haruka) + 動詞 (reads) + 名詞 (books)

Haruka: 何してる? → 読む
books: 何を? → 本を

主語 (Subject) 動詞 (Verb) 目的語 (Object)

動作や状態 (= 動詞) の主体を表す語 (句) です。名詞 (句) または代名詞 (句) が主語になります。

動作や状態を表すことば (動詞) です。→ 詳しくは Lesson 1 で学習します。

動作の対象 (= 目的) となる語 (句) です。名詞 (句) または代名詞 (句) が目的語になります。

Try 次の文の主語には を、動詞には を、目的語には をそれぞれつけましょう。

1. Haruka plays soccer.
2. Haruka and her brother play soccer.
3. Haruka plays soccer, basketball, and volleyball.

2 品詞

1. **名詞** 人やものなど (の名称) を表すことば (詞) です。名詞は文の主語や目的語などになることができます。

Haruka has a glass of milk, a boiled egg, and bread for breakfast.
名詞 名詞 名詞 名詞 名詞 名詞
(参考は、朝食にコップ一杯の牛乳と、ゆで卵と、パンを食べます。)

名詞の例

数えられる名詞	book (本)	family (家族)
数えられない名詞	water (水)	fun (おもしろいこと)
		Japan (日本)

2. **代名詞** 一度出てきた名詞の代わりに使われることば (詞) です。代名詞は主語になる場合と目的語になる場合などで形が変わるので注意しましょう。

Haruka has a brother. She likes him.
He likes her too.

Try 意味の通る文になるように、() 内の正しい語に○をつけましょう。

1. Shota has many friends. (She / They / We) are kind to him.
2. Haruka is one of (he / his / him) friends.
3. Shota calls (she / her / hers) Haru.

	単数 (1人 [1つ])				複数 (2人 [2つ] 以上)			
	～は [が]	～の	～に [を]	～のもの	～は [が]	～の	～に [を]	～のもの
私	I	my	me	mine	we	our	us	ours
あなた	you	your	you	yours	you	your	you	yours
彼	he	his	him	his	they	their	them	theirs
彼女	she	her	her	hers				
それ	it	its	it	*				

中学の復習に重点を置いた、やさしい教科書です。

本課は基本的に Warm-Up Listening → 本文 3 ページ → 課末 4 ページの構成で、学びやすく、教えやすいつくりになっています。

やさしい練習のくり返しで英語の基礎の定着を図り、コミュニケーション活動につなげます。

目標を可視化

I 巻 Lesson 8 までは
中学校で習う
文法事項の復習

導入

本文

(I 巻 Lesson 3)

Lesson 3 What Are Good Snacks?

この課の目標

- 健康なおやつについて知る。
- (be動詞+ing) を含んだ文の意味と使い方を理解し、表現する。
- 接続詞の意味と使い方を理解し、表現する。

Warm-Up / Listening

春香とマイクがおやつについて話しています。英語を聞いて、それぞれがよく食べるおやつの写真を選びましょう。

1 春香 ()
2 マイク ()

snack(s) [snaek(s)] スナック(ス)

テスト前などで夜遅くまで起きてるときや勉強に疲れたとき、あなたはどんなものを食べたり飲んだりしますか。

Host mother: Mike, you are eating too much chocolate!

Mike: I know, but I'm getting tired. If I eat some sweets, I can stay awake.

Host mother: You should go to bed because it's late.

Mike: But I have a big exam tomorrow. So I have to read my textbook.

Host mother: I see. Anyway, too much sugar is bad for you. Why don't you have something else?

1 Is Mike eating too much chocolate? Yes No
2 Is too much sugar good for you? Yes No

3 Why don't you have something else? 4
4 chocolate awake exam

題材への興味づけを図るリスニングで導入

本文理解を確認する Yes / No 問題

英語らしい発音の練習

本文理解を確かにする要約問題

見てわかる文法解説

くり返して定着を図るための練習問題

リスニング力の向上を図る練習

課末

COMPREHENSION

本文の内容と合うように、() 内の正しい語に○をつけよう。

Many students eat snacks while they are (studying / sleeping). But (teachers / scientists) say that sweets aren't good for you. You should eat low-fat and low-sugar foods. Some examples are nuts and (chocolate / beans). They are healthy (snacks / lunches).

KEY/POINT ① 現在進行形

「～しているところだ」という一時的に進行中の動作を表すときは、(be動詞+ing) の形を使います。

Haruka is playing the piano.

現在

現在形は現在の習慣や状態を表します。

Haruka plays the piano every day.

現在

会～ing形の作り方

- ① そのまゝ-ing
- ② teach → teaching
- ③ eat → eating
- ④ make → making
- ⑤ take → taking
- ⑥ 最後の字を削って-ing
- ⑦ cut → cutting
- ⑧ put → putting

DRILL マイクがだたらとバーベキューの準備をしています。線に合うように、() 内の動詞を適切な形に変えよう。

- Mike (set) the table.
- Shinji (make) a fire.
- Azuka and Yuki (cut) the vegetables.
- They (prepare) for a barbecue.

vegetable(s) [vɛdʒəb(ə)l] ヴェジタブル(ズ) prepare [prɪˈpeɪə] プリペア
barbecue [ˌbɑːbɪˈkiː] バーベキュー

KEY/POINT ② 接続詞

1 文と文をつなぐとき

「～のとき」と言いたいとき

Mike eats chocolate when he is sleepy.

主語 動詞 (～のとき) 主語 動詞

「～ならば」と言いたいとき

Mike can stay awake if he eats sweets.

主語 動詞 (～ならば) 主語 動詞

2 文の中に文が入るとき

主語(S)	動詞(V)	目的語(O)
I	know	the information.
I	know	(that) nuts and beans are good snacks.

「～は～である」ということを知っている。動詞(know)とそのあとに文がthatでつなぐ。that以下は動詞の目的語になります。読むときはthatの前で軽く区切るようにしてよ。

DRILL 1～4に続く語句を右から選び、文を完成させよう。

- We say *oyasuminasai* () a. that greetings are important.
- We say *ittekimasu* () b. after we have a meal.
- We say *gochisouma* () c. before we go to bed.
- We know () d. when we leave home.

information [ɪnfəˈmeɪʃən] インフォメーション
greeting(s) [grɪˈtɪŋ(ɪŋ)] グラウティング(s) meal [miːl] ミール

文脈のある練習問題

興味を引き出すコミュニケーション活動

ACTIVITY

ペアになってお互いにそれぞれがだんよくすることを紹介し、聞き合ひましょう。

① 文の前半に合わせて下線部分に自分がよくすることを書きましょう。

When I'm on a train, I _____.

When I get tired, I _____.

After I finish classes, I _____.

After I have dinner, I _____.

WORD LOGS do exercises 体操をする go to a coffee shop カフェに行く play online games オンラインゲームをする brush my teeth 歯を磨く do nothing 何もしない

② ペアになり、パートナーと①でつくった英文についてインタビューしましょう。あとで報告できるようにメモをとりながら聞き合ひましょう。

例 A: What do you do when you're on a train?
B: I listen to music when I'm on a train.

③ パートナーについて、クラスに3文以上で質問しましょう。

例 When B is on a train, he [she] listens to music.
When B gets tired, he [she] eats chocolate.
After B has dinner, he [she] brushes his [her] teeth.

RIDDLES

What can you serve but never eat?
.....

④ だんよくの serve するの英訳を答えよう。

serve [sɜːv] サーブ

楽しみながら英語を学ぶ「なぞなぞ」

rainy [reɪni] レイニ novel [nɒv(ə)l] ノベル choice [tʃɔɪs] チョイス
yogurt [ˈjɒɡ(ə)r(ɪ)t] ヨーグルト honey [ˈhʌni] ハニー coffee [kɒfi] コーヒー
join [dʒɔɪn] ジョイン letter [ˈletə] レター

言語の使用場面に応じたコミュニケーション活動

電話や買い物、レストランなどで使われる特有の英語表現を使えるように練習します。



Let's Communicate 1 電話をかけよう

美穂は友だちのみに電話をかけます。對話を聞いて、空欄の名前を変えて練習しましょう。

1 Mrs. Brown: Hello.

2 Mrs. Brown: Yes. Who's calling, please?

3 Mrs. Brown: Hi, **Miki**. I'll get him. Hold on, please.

4 Tom: Hi, **Miki**. What's up?

5 Tom: Sure. I'll be free in the afternoon.

6 Tom: Sounds good. I'll see you then.

Information
電話で自分の名前を言うときは This is...、相手の名前を尋ねるときは Who's that? とします。

Useful Expressions

電話をかける前
Can I speak to Mr. Brown, please?
(ブ라운さんに話しかけます。)

電話を受ける前
Who's calling, please?
(誰が話しかけていますか。)

電話を受ける中
Hold on, please.
(お待ちください。)

電話をかける後
Thank you.
(ありがとうございます。)

電話を切る前
Goodbye.
(さようなら。)

Let's Communicate 2 (I巻)

1 Miki: Hello. May I speak to Tom, please?

2 Miki: This is **Suzuki Miki**.

3 Miki: Thank you, Mrs. Brown.

4 Miki: Hi, Tom. Would you like to play tennis next Sunday?

5 Miki: Great! How about two o'clock at Chuo Park?

6 Miki: See you. Bye.

練習しよう

下線部を入れかえて、電話での對話を完成させよう。

Tom: Hi, Miki. I'll see you then.

Miki: Hello. May I speak to Tom, please?

Miki: This is **Suzuki Miki**.

Miki: Thank you, Mrs. Brown.

Miki: Hi, Tom. Would you like to play tennis next Sunday?

Miki: Great! How about two o'clock at Chuo Park?

Miki: See you. Bye.

Let's Communicate 3 レストランで注文しよう

手紙が外国のレストランで料理を注文しています。對話を聞いて、ヘアで練習しましょう。

料理を注文するとき

Server: Are you ready to order?

Chika: Yes. I'd like the onion soup, the New York steak, and the green salad.

Server: What kind of dressing would you like on the salad, Italian, French, or Chinese?

Chika: Italian, please.

Server: OK, so you'd like the onion soup, the New York steak, and the green salad with Italian dressing.

Chika: Yes, that's right.

Useful Expressions

Server: How would you like the steak (cooked)?
(ステーキの焼き加減はいかがですか。)

Chika: Medium (Well-done), please.
(1/2焼き(ウェル・ドーン)をお願いします。)

Server: Could I have some more water, please?
(もう少しお水をいただけますか。)

Chika: I see the menu again?
(メニューをもう一度見てもいいですか。)

Server: Could I have a doggy bag, please?
(残りを持ち帰らせていただけますか。)

Chika: Yes, please.

練習しよう

上のメニューを使って、料理を注文するときと食後のデザートも注文するときと食後のデザートも注文するときそれぞれの對話を、下線部を入れかえてヘアで練習しましょう。

Server: How would you like the steak (cooked)?
Chika: Medium (Well-done), please.
Server: Could I have some more water, please?
Chika: I see the menu again?
Server: Could I have a doggy bag, please?
Chika: Yes, please.

Let's Communicate 3 MENU

Soups	Main Dishes	Salads	Desserts
● Onion Soup \$ 2.00	● Roast Chicken \$ 12.00	● Green Salad \$ 4.00	● Cheese Cake \$ 2.50
● Tomato Soup \$ 4.00	● Pork Curry \$ 14.00	● Mixed Salad \$ 5.00	● Chocolate Cake \$ 3.00
● Vegetable Soup \$ 4.00	● New York Steak \$ 16.00	● Seafood Salad \$ 6.00	● Ice Cream \$ 2.00

練習しよう

Server: Can I get you any dessert?

Chika: We have cheese cake, chocolate cake, and ice cream.

Server: What do you have?

Chika: Cheese cake, please.

Server: OK. I'll be back with your order soon.

コミュニケーションを支える文法を重視

I巻の「英語のしくみ」では、文の構造、句と節、名詞の後置修飾を解説しています。
II巻の「場面で理解」では、英語は使用場面によって機能が異なることを学びます。

英語のしくみ 1 文の構造

1 主語+動詞 (SV)

● 英文の主語(S)と動詞(V)から成り立っています。
I is a cat. (IはS、isはV) であるという意味を表します。「主語(S)+動詞(V)」の順に並びます。

主語(S)	動詞(V)	修飾語(動詞の動作を詳しく)
Our school	stands	on a hill.
School	starts	at 8:30.
My cat	jumps	really high.

2 主語+動詞+補語 (SVC)

● 主語がどういったものであるかを述べるときは、動詞のあとに補語を付けます。また、主語の性質や場所を述べるときも、動詞のあとに補語を付けます。これを修飾語(C)と呼びます。修飾語は「主語(S)+動詞(V)+修飾語(C)」となります。

● この構造の文では、動詞(V)は be動詞(am, is, are), wereなどか、look(～を見る), feel(～と感じる), sound(～に聞こえる), smell(～においを感じる)などを使います。

場面理解 1

命令文: 申し出る、勧める、指示するなど

● 次の對話を読んで、どのような場面が考えられますか。

01 Boy: Would you like to sit down?
Woman: No, thank you. I'm getting off at the next station.
Boy: Please. Have my seat.
Woman: That's kind of you.

02 BUY ONE GET ONE FREE! PIZZA

● この表示は、惣菜のお店でよく見かけます。1つ買うと、もう1つが無料で付いてくるという意味です。「買いたい」と命令しているのではなく、勧めているのです。このように、商品を宣伝するときにも命令文がよく使われます。

場面理解 2

● 次の對話を読んで、どのような場面が考えられますか。

01 Mr. Smith: You did a good job on the English exam, Shota.
Shota: Thank you, Mr. Smith. I studied hard.
Mr. Smith: I know. Keep up the good work.

02 Akemi: Can you answer the phone?
I can't answer it right now.
Daughter: OK, Mom.
Akemi: Take a message, please.

03 Mix butter and sugar.
Add eggs.
Mix them well.
Add flour and mix well again.

04 Sakuro: Watch your head, after OK.

Let's Try

● 次の命令文をそれぞれどのような場面で使っていますか。それぞれのA～Fの中から選びましょう。イラストも参考にしてください。場面や状況を考えてみましょう。

A. 勧める B. 指示する C. 勧める D. 勧める E. 勧める F. 勧める

● 次の命令文をそれぞれどのような場面で使っていますか。それぞれのA～Fの中から選びましょう。イラストも参考にしてください。場面や状況を考えてみましょう。

A. 勧める B. 指示する C. 勧める D. 勧める E. 勧める F. 勧める



Teacher's Manual

セット定価：本体 26,000 円+税

▶指導書(解説編)

▶Teacher's Book

▶教科書データ CD-ROM

(収録物) ①年間指導計画案 ②評価規準(例) ③CAN-DO リスト案 ④教科書文字データ ⑤本文日本語訳 ⑥単語・熟語リスト ⑦基礎文法ワークシート ⑧評価用テスト問題(発展・標準) ⑨リーディング・ワークシート ⑩本文理解確認ワークシート ⑪言語活動ワークシート ⑫スラッシュリーディング・ワークシート ⑬オーラル・インタラクション用チャート ⑭単語・熟語問題作成プログラム

▶デジタル教科書 CD-ROM

※主な機能については下記をご参照ください。

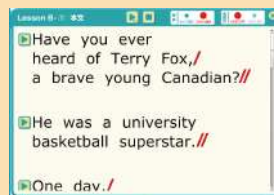
デジタル教科書が
付属しています!

◎デジタル教科書の主な機能



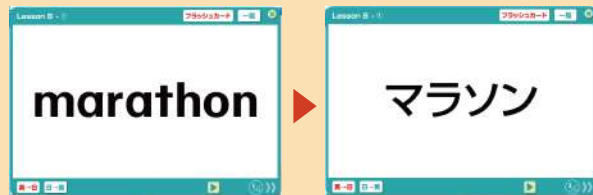
(本文ページ画面)

1. スラッシュ読み機能



◀意味の区切りにスラッシュを入れ、再生スピードも3段階で選択できます。

2. フラッシュカード機能



▲「英→日」、「日→英」の両方で新出語を表示できます。



学校用 CD

価格：本体 19,000 円+税

教科書に掲載されているすべての英文はもちろん、本文のスラッシュ読みも収録。CD6枚セット。



ワークブック

定価：本体 600 円+税

レッスンごとに語句や本文の概要を確認し、文法事項のまとめと練習問題を行う基本構成となっています。教科書の復習や、テスト前の整理にも活用できます。



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1丁目13番1号 ☎03-5684-6111 <http://www.kairyudo.co.jp/>